

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 30 日現在

機関番号：35405

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22401037

研究課題名（和文） 南アジアにおける「地域」ガバナンスとしての共同森林経営に関する地理学的研究

研究課題名（英文） Forest Management as Regional Governance in South Asia

研究代表者

木本 浩一（KIMOTO KOICHI）

広島女学院大学・生活科学部・教授

研究者番号：20294605

研究成果の概要（和文）： 共同森林経営（JFM）は、1990年代から世界に広まった住民参加型の森林管理手法の一つである。本研究では、インド、ネパールにおいてその実態を明らかにした。確かに森林率の上昇など、JFMは量的・面的な成果をあげている。しかし、住民の多様性、成果至上主義のため森林経営自体が手段化するなど、広範な地域でのガバナンスの可能性が減退している。特に、国立公園など管理の行き届いた森林とそれ以外の対照は顕著である。

研究成果の概要（英文）： Joint Forest Management (JFM), is one of the Community-based forest management program which has spread across the world since the 1990's. In this study, we attempted to clarify the actual situation of JFMs in India and Nepal. Actually, we can quantitatively observe the success of the JFM program as exemplified by the rapid growth rate of forest. We can observe some of successful cases of JFMs in village level, but also we have to recognize that the possibility of regional governance have been declining in the region outside of the forest. In particular, there is the striking contrast between the well-managed forest such as National Parks and the others.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
2011年度	3,600,000	1,080,000	4,680,000
2012年度	1,600,000	480,000	2,080,000
年度			
年度			
総計	10,100,000	3,030,000	13,130,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：人文地理学

キーワード：共同森林経営、ガバナンス、南アジア、地誌、指定部族

1. 研究開始当初の背景

(1) 1980年代後半、森林管理の目的は、利活用から保全へと大きく変わった。その背景には深刻な環境問題や海外援助の方向性的変化などがあつた。それらは参加型森林管理と呼ばれ、世界各地からの報告が相次いだ。

(2) JFMに関する研究は、JFMをコモンズ研究の一環として検討する理論志向の研究と、JFM事業の成否に関する研究、環境史研究などに大別できる。

(3) いずれの研究も「森林」研究の域にとどまっており、森林を含む「地域」の多様性を踏まえた研究となっていない。

(4) 地理学においては、政策検討に資する「新しい地誌」へ動きがあり、日本における「総合地誌」研究を標榜した海外研究の蓄積は、そうした動向の中に位置づけ再評価することが可能である。

2. 研究の目的

本研究では、南アジアを対象として、JFMの展開とそれに伴う土地利用上のコンフリクト（とその調整）という観点から、詳細なフィールド調査に基づいて、「地域」ガバナンスの構造的可能性について検討することを目的とする。その際、「対象としての「地域」、分析枠組みとしての「地域」という地誌的な方法論を再考し、地理学的な社会貢献について新たな知見を得たい。

3. 研究の方法

- (1) 研究対象地域：インド及びネパールから、国立公園およびその周辺を選定した（南インド（Nagarahole）、北インド（Alwar）、ネパール（Langrang、Shivapuri））。
- (2) 理論的枠組み：対象としての「地域」という観点から、マクロ、メソ、ミクロのスケール毎に生じる問題を整理し、その分析手法を検討する。
- (3) 個別集落における実態調査：アンケート調査、アクター（森林官やNGO関係者など）へのヒアリング、測量など。

4. 研究成果

今回の研究では、各地における国立公園の成立とその周辺部の実態調査を主とした。その成果は、以下のとおりである。

- (1) 森林減退地域の成立過程（Nagarahole 国立公園（カルナータカ州南部））： 1950年代の地形図および19世紀末の地誌資料から当時の森林の範囲を確認し、その範囲と現状とを比較し、その間の森林減退地域を確定した。同地域内の集落（約50ヶ村）を対象として、開村以降の歴史（古老を中心とした生活史インタビュー）について調査した。その結果、住民による自発的開墾と州政府による社会政策の結果として森林減退が生じたことが明らかになった。集落の中には、州外からの転入者も多い。隣州のタミル・ナドゥから移住した者は、ターメリック市場の動向を見極め、良好な農地を求めて移住していた。
- (2) 理論的枠組み：対象としての「地域」という観点から、マクロ、メソ、ミクロという異なるスケールからなる地域を想定した場合、村民、行政官、木材業者、NGOなど各種のアクターがどのスケールで行動し、

その行動がどのスケールで影響を及ぼすのかといった点を把握できる理論的な枠組みを構築することができた。こうした枠組みは、地域の総体を総合的に把握する枠組みとしての「地誌学」の可能性を広げる者であり、このことは地理学だけではなく、複合的な課題に取り組みざるを得ない諸学にとっても有益であろう。

- (3) ネパールの事例：ネパールの調査では、国立公園の「内部」にコミュニティフォレストが存在しており、その運営は森林局との関係によって異なる。ただし、土砂崩れ、住民の参加が少ないこと、意識の低さ（違法な伐採、ゴミ捨て）など、共通した課題がみられる。当局や補助金との兼ね合いもあって、直接的な見返りのないプログラムには住民の参加度が低い。意識向上のための啓発プログラムが実施されているがどの程度まで浸透するのかについては疑問が残る。Syabru VDC（Langtang 国立公園）では、プログラムではなく、寺院建設という集落活動の中で結果的に啓発されていく、という成果がみられた。
- (4) インドの事例：南インド（Nagarahole）、北インド（Alwar）で現地調査を行った。両者に共通することは、森林の減退していった地域に暮らす住民が決して森林との関係の深い者や森林に関心を示す者とは限らず、あくまでも土地を求めて来た住民であるということである。さらに、その動機は住宅建設や観光目的などから半乾燥地にあっては水を得やすい（地下水位など）などに至るまで多種多様である。そうした地域には、言語すらも共有しない雑多な住民が暮らしており、仮に森林局が事業を実施しようとしても、その選択は恣意的であると他の集落から見なされる場合が多い。そのため、森林局と住民に加えて、住民同士といったコンフリクトが伏在しており、結果的には、広大な森林を包含する地域的なガバナンスの確立が困難になっている。そのため、国立公園においてはより厳密なルール化が進み、周辺部との管理上・経営上の落差は大きくなる一方である。
- (5) 森林をめぐるコンフリクト：Nagarahole 国立公園は、ゾウやトラの保護区として有名である。1999年にはプロジェクト・タイガーの実施区域と整備され、野生動物保護区としての「純化」が本格化した。1983年に国立公園に指定される前後から、森林内に居住する指定部族（ST）を社会福祉政策の一環として森林の外に土地と家屋を与えて移住政策（Re-habilitation policies）を採ってきた。この政策は引き続き実施さ

れ、居住域は森林により近いところに設けられるようになってきた。このことは指定部族が森林と共生してきたということを念頭に置いてのことであるが、実際には、指定部族はプランテーションに働きに行くなどして森林との関係は希薄になりつつある。また、彼らの居住区を設置するために、森林局は森林周辺のバッファゾーンを利用している。このことは森林とその周辺（居住区、農地など）との境界を明確にすることになり、結果的に、野生動物と人間とのコンフリクト (Human and Wildlife Conflict: HWC) が増加することになった

(6) 共同研究：本研究では、研究チームの編成について特に注意した。つまり、現地の共同研究者を調査チームのチーフとなってもらい、大学院生や地元の研究者などを調査チームとして編成して、共通の理論的枠組みの中で調査を実施してもらった。こうした過程を通じて、研究者同士のディスカッションが円滑になり、若手の研究者に対しては、国際共同研究の中で自らの調査を位置づけることが可能となるなど、教育的効果も得られた。本研究では、積極的に海外の学会やシンポジウムにおいて成果を報告するとともに、インドではシンポジウムを開催した。本研究が単に日本人研究者による研究に終わらず、現地の研究者のネットワーク拡充や現地研究者同士の交流の場の構築に貢献することができた。

(7) 今後の展望：本研究の成果として、国立公園とはいったい何を守っているのかという課題に到達することができた。すなわち、国立公園は、1980年代から世界各地で環境保全のために活発に設置されてきた。しかしながら、環境や野生動物の「城塞」と揶揄される国立公園と、無計画に放置された周辺部との対比は顕著である。国立公園の是非を問うという形ではなく、国立公園を含む広範な「地域」において新たなガバナンスをいかにして構築するのかという課題を確認することができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

01) Kimoto, K., S. Arun Das and B. S. Shir Harsha; Land grabbing at the pretext of religious worship on pedestrian pavements in Mysore city, Karnataka, India. Himiyama, Y. (eds.) Towards Sustainable Land Use in Asia (III)

SLUAS Science Report 2012, 査読有, 2012, 99-111

02) 辰己佳寿子、農村開発／発展の社会的アプローチに関する一試論—「生活改善」をめぐる個人と社会—、国際開発研究、査読有、第 21 巻第 1/2 号、2012、73-88

03) 辰己佳寿子、インフォーマル組織の定着過程を通じた地域社会の多面的発展—ネパール山岳地域におけるグループ金融の変遷を中心に、西日本社会学会年報、査読有、第 10 号、2012、89-100

04) 木本浩一、土地利用からみた都市「近代化」—変化と媒介—、歴史地理学、53(1)、査読有、2011、55-70

05) Kimoto, K. and S. Arun Das; Preliminary field survey of deforestation in Mysore district, Karnataka, India. Himiyama, Y. (eds.) Towards Sustainable Land Use in Asia (II) SLUAS Science Report 2011, 査読有、2011、93-113.

06) 木本浩一、南インドにおける土地利用、地理、56(9)、査読有、2011、57-63

07) 辰己佳寿子、ヒマラヤ観光の社会経済的影響—ネパール・ランタン谷の事例から、やまぐち地域社会研究、査読有、第 7 号、2011、147-158

08) 木本浩一、スコットランドにおける市民参加の森づくり—森林トラストを中心として—、山本佳世子編『身近な地域の環境学』古今書院、査読有、2010、131-151

09) 木本浩一、西ガーツ山脈南端における森の民と森の生きもの—誰の境界なのか？何が境界なのか？—、地理科学、65(3)、査読有、2010、55-66

10) Das, Arun, S., Kimoto, K., Ravikumar, S., Jabir, K. and B. S. Harsha; Land Use and Land Cover Atlas of Class II Cities of India - Mysore city, Himiyama, Y. (eds.) Towards Sustainable Land Use in Asia (I) SLUAS Science Report 2010, 査読有、2010、27-46

11) TATSUMI, Kazuko and Narendra Mangal Joshi, The Roles of Communities in Rural Development—Potentials of Community-Based Approach in Nepal, Asian Rural Sociology、査読有、Vol.4、2010、92-103

[学会発表] (計 36 件)

- 01) Poonam K., R.B. Singh and K. Kimoto 2012 Institutional Dimensions and Changing role of Forest Management Governance in Dehradun Valley, India. International Symposium 'Changing Mountain Environments in Asia', Kathmandu, Nepal (20121009)
- 02) Ajay K., R.B. Singh and K. Kimoto 2012 Joint forest management: Community response and local governance in drylands: A case of Alwar, Rajasthan, India. International Symposium 'Changing Mountain Environments in Asia', Kathmandu, Nepal (20121009)
- 03) TATSUMI Kazuko and Phurpa Tamang, Ecotourism through the Traditional and Local Practices -A Case Study of Langtang National Park in Nepal-, International Symposium 'Changing Mountain Environments in Asia', Tribhuvan University (20121009)
- 04) 木本浩一・アルンダス, S.・辰己佳寿子 2012 インドにおける地域ガバナンスとしての森林管理—カルナータカ州の事例から—。日本地理学会 2012 年春季学術大会、首都大学 (20120328)
- 05) 辰己佳寿子・ナレンドラ, J.・木本浩一 2012 地域主導型森林管理に関する一考察—ネパール山岳地域と山間地域の比較から—。日本地理学会 2012 年春季学術大会、首都大学 (20120328)
- 06) Kimoto, K. 2012 Forest Management as "Regional" Governance in India - a theoretical framework -. XI International conference Deccan Geographical Society of India at Mysore, India (20120224)
- 07) JOSHI, Narendra Mangal and Kazuko Tatsumi, The Forest Management System in Nepal in Different Level of Governance, XI International Conference Deccan Geographical Society Of India, University of Mysore (20120224)
- 08) TATSUMI, Kazuko and Narendra Mangal Joshi, Forest Management on the Grass-root Level in Nepal-A Comparative Study of the Hill and Mountain Regions-XI International Conference Deccan Geographical Society Of India, University of Mysore (20120224)
- 09) Kimoto, K., Harsha, S. and S. Arun Das 2012 Land Grabbing for Religious Purposes - Micro Incident, but Big Issue -. SLUAS 2012 Winter Workshop at Asahikawa (20120128)
- 10) 辰己佳寿子、アジア村落開発・発展と日本村落社会学との社会的な接点、第 22 回国際開発学会全国大会、名古屋大学、(20111127)
- 11) Kimoto, K. 2011 Forest management as regional governance in India. International Geographic Union Regional Geographic Conference, at Santiago, Chile, (20111114)
- 12) Kimoto, K. 2011 Theoretical framework for forest management as regional governance. 1st meeting for FMaRG project at Mysore, India, (20111005)
- 13) 木本浩一 2011 インドにおける土地利用の正当性と合法性. 日本地理学会 2011 年秋季学術大会シンポジウム「アジアにおける持続可能な土地利用の形成に向けて」、大分大学 (20110924)
- 14) Kimoto, K. and S. Arun Das. 2011 Deforestation and its regional processes in Mysore district, Karnataka, India. Geospatial and Human Dimension on Sustainability Natural Resources Management, An International Seminar at the IICC Bogor, Indonesia (20110912)
- 15) Kimoto, K. 2011 The present situation and issues of Joint Forest Management (JFM) in India. JpGU Meeting 2011, Makuhari, Japan (20110526)
- 16) Kimoto, K. 2011 Land use cover and change in counter urbanization region in India. JpGU Meeting 2011, Makuhari, Japan (20110526)
- 17) Kimoto, K., R.B. Singh and S. Arun Das 2012 Present condition of Soil Exploitation in India. JpGU Meeting 2012, Makuhari, Japan (20110521)
- 18) 徳野貞雄・辰己佳寿子、ネパール近代化の光と影—開発とフィルター—、西日本社会学会第 69 回大会、島根大学 (20110521)

- 19) Kimoto, K. 2011 Pre and Post-Independence Forest Cover Change, identification, Mapping and Demarcating the Deforestation in Kodagu District. South Eastern University of Sri Lanka International Symposium on Post-War Economic Development through Science, Technology and Management, Oluvil, Sri Lanka (20110419)
- 20) 木本浩一・辰己佳寿子、インドにおける森林の減少と減退-カルナータカを事例として、日本地理学会 2011 年春季学術大会、明治大学 (20110329)
- 21) 辰己佳寿子・木本浩一、資源管理における相互扶助と地域ガバナンス-ネパール山村の事例から-、日本地理学会 2011 年春季学術大会、明治大学 (20110329)
- 22) Kimoto, K. 2011 Human and Elephant Conflict in Regional Context - A Case of Western Ghats, Karnataka, India. SLUAS 2011 Winter Workshop, Asahikawa, Japan (20110129)
- 23) Arun Das, V. Periyannan, and Koichi Kimoto 2011 Irrigation System and Land Use Change of Southern India - Kaveri River Basin of Tamil Nadu. SLUAS 2011 Winter Workshop, Asahikawa, Japan (20110129)
- 24) Kimoto, K., Arun Das. S., Somashekara, B.M., Harsha, B.S., Jabir, K. 2010 Re-habitation and Land Use Change Around the Forest. IGU Commission Seminar 2010, Guwahati, India (20101212)
- 25) Kimoto, K., Arun Das, S., Shashikala, Ravikumar, Periyanna, V. 2010 Between the De-forestation and the Aforestation - a case of Mysore District, Karnaraka, India. IGU Commission Seminar 2010, Guwahati, India (20101212)
- 26) Arun Das. S, Kimoto K., Shriharsha B. S. 2010 Evacuation or Legalization Process of Land Grabbing and its effect on city planning of India, Case Study of Mysore City. 32nd Indian Geography Congress of National Association of Geographers (NAGI), Chandigarh, India (20101120)
- 27) Arun Das. S, Kimoto, K., Jabir. K. 2010 Evaluation of Recreational site selection and the prospects of recreational Establishments in Mysore City. 32nd Indian Geography Congress of National Association of Geographers (NAGI), Chandigarh, India (20101120)
- 28) Arun Das. S, Kimoto, K., Ravikumar. 2010 The Roots of Regional Disparities and Regional Governance in Mysore District. 32nd Indian Geography Congress of National Association of Geographers (NAGI), Chandigarh, India (20101120)
- 29) Arun Das. S, Kimoto, K., Shashikala, H.R. 2010 Evaluation of Forest cover in dry and rain fed land of Mysore district-Southern India. 32nd Indian Geography Congress of National Association of Geographers (NAGI), Chandigarh, India (20101120)
- 30) Arun Das. S, Kimoto, K., Somashekara, B.M. 2010 The past and the present Laccustine Lakes of Quaternary Era of Mysore district - Southern India. 32nd Indian Geography Congress of National Association of Geographers (NAGI), Chandigarh, India (20101120)
- 31) TATSUMI, Kazuko, Narendra Mangal Joshi, The Roles of Communities in Rural Development Potentials of Community Based Approach in Nepal The 4th International Conference, Asian Rural Sociological Association, Bicol University Legazpi, Philippine (20100908)
- 32) Kimoto, K. 2010 "Regional" conflicts around the forest in South India., 4th Edition of the International Conference Rural Space and Local Development, Bistorita, Romania (20100723)
- 33) 木本浩一 2010 ヒトと生きものが地域において共生する、とは？-西ガーツ山脈の事例から-。第 182 回地理教育懇話会、広島大学附属中・高等学校 (20100529)
6. 研究組織
 (1) 研究代表者
 木本 浩一 (KIMOTO KOICHI)
 広島女学院大学・生活科学部・教授
 研究者番号：20294605
- (2) 研究分担者
 辰己 佳寿子 (TATSUMI KAZUKO)

山口大学・エクステンションセンター・准
教授

研究者番号：80379924

(3)研究協力者

R. B. Singh, Ph.D.

Professor of Geography,
Department of Geography, Delhi School of
Economics,
University of Delhi, INDIA

S. Arun Das, Ph.D.

Assistant Professor of Geography,
Department of Post Graduate Studies in
Geography, Manasagangotri,
University of Mysore, INDIA